## 1　請願審議概況

今国会に紹介提出された請願は、1,090件（193種類）であり、このうち件数の多かったものは、「高齢者に負担増と差別医療を強いる後期高齢者医療制度の中止・撤回に関する請願」56件、「介護報酬改定に関する請願」50件、「新テロ特措法の延長反対に関する請願」37件、「現行保育制度の堅持・拡充と保育・学童保育・子育て支援予算の大幅増額に関する請願」36件、「国籍選択制度の廃止に関する請願」31件、「成人の重国籍容認に関する請願」31件などであった。

各委員会の付託件数は、内閣4件、総務30件、法務78件、外交防衛41件、財政金融189件、文教科学109件、厚生労働431件、農林水産27件、経済産業86件、国土交通47件、環境24件、議院運営24件であった。

請願者の総数は591万8,524人に上っている。

請願書の紹介提出期限については、当初11月13日の議院運営委員会理事会において、会期終了日の９日前の同月21日までと決定されたが、28日の衆・本会議において25日間の会期延長が議決されたため、受理を再開した。延長後の紹介提出期限については、12月11日の議院運営委員会理事会において会期終了日の８日前の同月17日までと決定された。

12月24日、各委員会において請願の審査が行われ、３委員会において99件（９種類）の請願が採択すべきものと決定された。次いで同日の本会議において「女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准に関する請願」外98件が採択され、即日これを内閣に送付した。

今国会における請願採択率（採択件数／付託件数）は9.1％であり、種類別による採択率（採択数／付託数）は4.7％であった。